

絶滅危惧類 オシダ科

カラフトメンマ

Dryopteris coreano-montana Nakai

【選定根拠】 過去(30~50年)の生育確認後、情報なし

【形態】 夏緑性で、オシダに似るが葉柄上部や中軸の鱗片はまばらである。葉柄下部の鱗片は淡い茶色か、栗色が交ざる。小羽片は間隔がやや広く、先端は鋭頭、やや深い鈍鋸歯があり、葉は柔らかく、厚紙質で淡い緑色。孢子嚢は、葉身より半分から上に付き、また小羽片の中肋の左右一列につく。

【分布】 北海道、福島県、中部地方でやまれに分布する。朝鮮、旧ソ連東部に分布する。

【県内の分布、生育状況】 山都町に分布記録があり、東北地方では本県のみ知られている。

【生育に影響を与えている要因】 遷移進行

【主要文献】

倉田 悟・中池敏之、1972、日本のシダ植物図鑑、東京、1: 434.

絶滅危惧類 デンジソウ科

デンジソウ

Marsilea quadrifolia L.

全国カテゴリー；絶滅危惧類

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少

【形態】 夏緑性。根茎は細く、長くて泥の中をはい、不規則に分枝し、やや接して葉をつける。圧着した毛がある。葉柄の長さは水深によって変化大きく10~20cm、またはこれ以上の長さになり、無毛で緑色、基部は暗緑色。小葉は4枚、四つ葉のクローバーのように田の字に似て上端は丸みを帯びた倒3角形。孢子嚢果は有柄で、葉柄の基部より少し上に出る短い枝に2~3個つける。

【分布】 日本では広く分布し、水田、湖沼などの泥の中に根をおろし群生するが、現在は激減している。東アジア、インド北部、ヨーロッパに分布する。

【県内の分布、生育状況】 高郷村、猪苗代町の水辺に記録があるが、高郷村の生育のみが確認された。

【生育に影響を与えている要因】 水質汚濁、水田整備

【特記事項】 生育地周辺の環境を保全することが望ましい。

【主要文献】

倉田 悟・中池敏之、1987、日本のシダ植物図鑑、東京、5: 778.